

北海道浮魚ニュース

平成 25(2013)年度 19 号

2013 年 10 月 4 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎道東太平洋サンマ南下期調査結果

漁獲尾数は昨年よりも少なく、魚体は大型魚主体

北辰丸（釧路水産試験場試験調査船）で行ったサンマ南下期調査の結果をお知らせします。今回の調査は、道東太平洋海域へのサンマの南下状況を把握することを目的に実施しました。台風の影響で、調査は設定した 15 地点のうち 7 地点でしかできませんでした。

調査期間：2013 年 9 月 25 日～10 月 4 日

調査海域と調査点（図 1）：道東太平洋（40° 00'N～42° 30'N, 144° 30'E～147° 00'E）の 7 調査点（漁獲調査は 3 点）。

調査方法：CTD による海洋観測及び 9 種類の目合（22,25,29,37,48,55,63,72,82mm）の流し網を用いた漁獲試験を実施しました。

1. 表面水温(図 1, 表 1)

各調査点の表面水温は 14.8～18.0℃の範囲でした。St.5 では 15.1℃であり、サンマの分布に好適な 15℃前後の水温域でした。これと比べると、北側の St.1 と St.3 では 17℃以上で高い値でした。

2. 漁獲尾数と CPUE(図 1, 表 1, 表 2)

流し網調査の結果、サンマの総漁獲尾数は 36 尾でした。また、CPUE*（流し網 1 反あたりの漁獲尾数）は 0.9 尾でした。これを 2001 年以降の同調査結果と比較すると、漁獲尾数、CPUE ともに最低値でした。サンマの分布状況としては、沿岸寄りの St.1 では漁獲がありませんでしたが、沖合の St.3（17 尾）と St.5（19 尾）では尾数は少ないものの分布が確認されました。

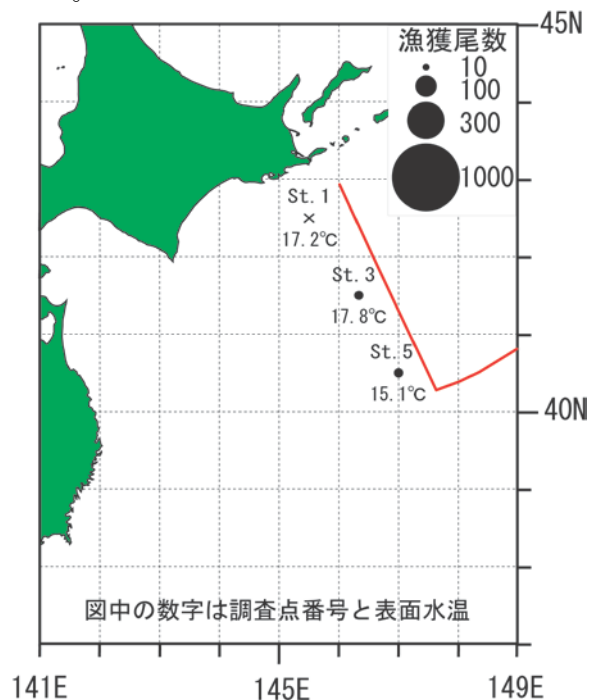


図 1 2013 年サンマ南下期調査結果
（●の大きさは漁獲尾数を表し、
×は漁獲がなかったことを表す）

3. 体長組成(図 2)

流し網で漁獲されたサンマの体長範囲は、27～33cm 台でした。漁獲があった St.3 と St.5 では共に大型魚が主体で、占める割合はそれぞれ 77%と 79%でした。この 2 地点を合わせた調査点全体の合計では大型魚 78%、中型魚 22%であり、大型魚主体の中型魚混じりでした。小型魚・ジャミは、昨年では漁獲物の 13%を占めましたが、今年は全く見られませんでした。

*目合 29,37,48mm の漁獲尾数から算出。1 反は 30 間切りで換算。

表1 2013年サンマ南下期調査結果概要

St.	調査日 (揚網日)	位置		水温(°C)			サンマ漁獲尾数							合計	
		北緯	東経	0m	50m	100m	目合22mm	25mm	29mm	37mm	48mm	55mm	63mm		72mm
1	9月29日	42-30	145-30	17.2	6.6	3.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	9月29日	42-00	146-00	18.0	8.2	4.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	9月30日	41-30	146-20	17.8	10.3	7.5	0	0	1	16	0	0	0	0	17
4	9月30日	41-00	146-40	14.8	7.2	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	10月1日	40-30	147-00	15.1	2.6	1.3	0	0	4	13	0	2	0	0	19
6	10月1日	40-00	147-00	17.3	5.0	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	10月2日	42-30	144-30	17.1	6.6	3.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計							0	0	5	29	0	2	0	0	36

目合22.25mm各1反(30間切り換算)、29.37.48mm各4反(30間切り換算)、55mm2反(30間切り換算)

表2 サンマ南下期調査におけるサンマの漁獲尾数とCPUEの経年変化

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
総漁獲尾数	8,125	2,168	2,425	168	1,851	9,005	316	200	6,508	2,157	1,678	191	36
漁獲尾数(目合29-48mm)	8,080	1,957	2,224	167	1,787	8,945	297	163	6,381	1,977	1,628	172	34
反数(目合29-48mm)	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
調査点数	6	4	1	7	8	6	7	5	8	7	6	3	3
CPUE(尾/反)	112.2	40.8	185.3	2.0	18.6	124.2	3.5	2.7	66.5	23.5	22.6	4.8	0.9

CPUE(尾/反) = 漁獲尾数(目合29-48mm) / 反数(目合29-48mm) / 調査点数

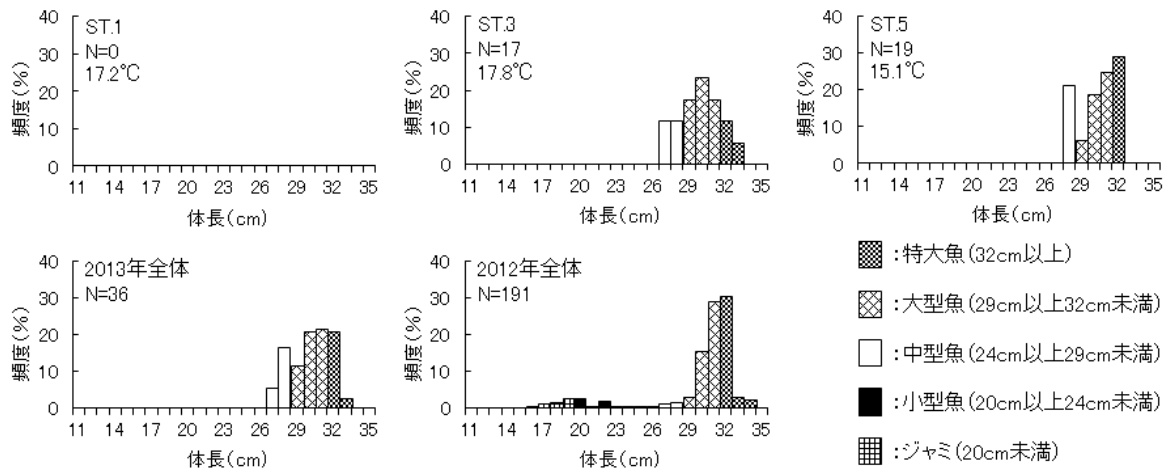


図2 2013年サンマ南下期調査におけるサンマの体長組成(Nは漁獲尾数, 温度は表面水温)

4. まとめ

この時期のサンマは、親潮（冷水）の中を北方四島周辺から北海道・本州方面に向けて南下します。今年の道東沖におけるサンマの漁場形成は昨年と同様に遅れており、本調査期間中の漁場は色丹島近海および沖合にありました。今回の調査海域では、漁場が形成されるような密度の高い群れや、親潮第2分枝を南下するサンマの大きな群れは、確認できませんでした。

(釧路水産試験場 調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)